



作文1部

農林水産大臣賞

## おじいちゃんじまんのお米

岡山県倉敷市立西阿知小学校三年

亀沢 生実

私の家の朝ごはんは、毎日ごはんのみそしるをいただきます。家族七人集まり、弟の「いただきますーす。」のあいずで食べはじめます。みんなで今日のよていなどほうこくし合ったり、学校のことや友だちのことを話します。

私たちが食べるお米は、おじいちゃんが田んぼで一生けんめい育てたお米です。そのお米は、おじいちゃんのこだわりがあります。それは、のうやくやひりようをいっさいつかわないう自然農法という育て方です。いねかり後の田んぼに、れんげの種をまき、春には一めんれんげ畑になります。れんげや草はたがやさず、草をかきわけながらなえを手で一本一本植えていきます。植えおわり水を入れるとその草はかれ、ひりようになります。「水のかんりが大切だ。」とおじいちゃんは言っています。草のえいようと水でいねはどんどん大きくなり、秋には金色のお米が

実ります。いねかりにもとくちようがあります。それは、いねをかった後にてんぴぼしをすることです。てんぴぼしとは、かりとった田んぼに丸太を組み、ほを下にしてかけていきます。3週間太陽の光と風によりかんそうさせます。そうすることで、根元からお米にうまみが集まり、より一そうおいしくなります。そうしてできたお米を一年間大事にいただきます。

六月に家族と親せき、友だちと一本一本植えたなえは、青々とせい長しています。今では、私のむねのあたりまで大きくなっています。今から十月のいねかりが楽しみです。

毎日、おいしくお米が食べられるのは、いつもおじいちゃんが愛じようをこめてていねいにお米を育ててくれ、めぐまれたきこうと水のおかげだと思えます。

朝は少しねむたいけど、おじいちゃんが作ったお米を食べれば、ねむけもさめ、いきいきと学校に通うことができます。今日もかんしゃして朝ごはんをいただきました。